

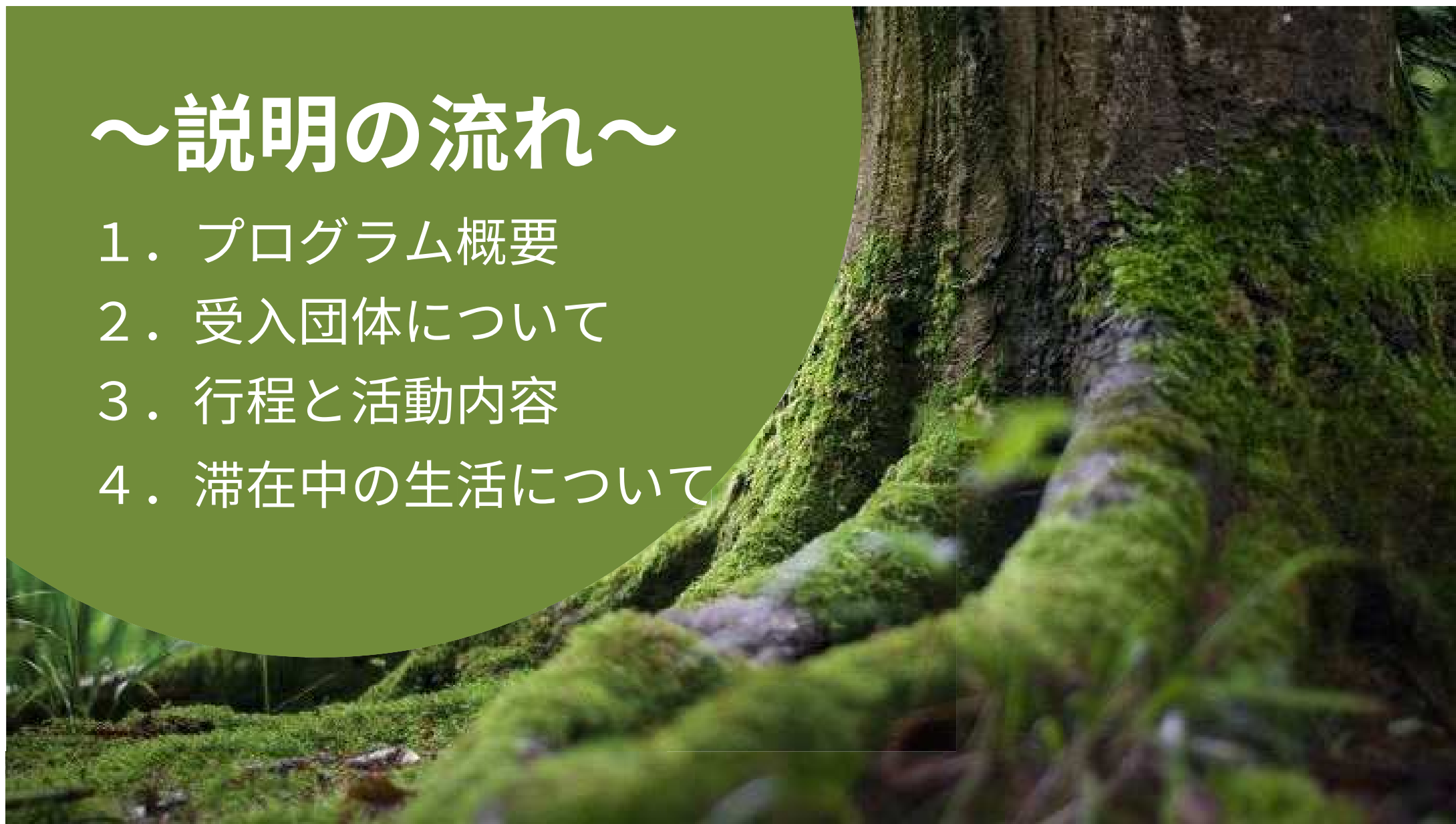


ウータン・森と生活を考える会

京都市立高校 グローバルリーダー 育成研修 プログラム概要

～説明の流れ～

1. プログラム概要
2. 受入団体について
3. 行程と活動内容
4. 滞在中の生活について





環境問題についての グローバルとローカルの 視点での探究

インドネシアの村での
ホームステイを通して
森を守る取り組みを体験し
サステナブルな社会の
創り方を考えよう



＜ポイント1＞

豊かな森が残された国立公園と森林が切り開かれたアブラヤシ・プランテーションの間にある村でのホームステイを通して、開発の是非や森林保全の意義について、現地の人の目線で考える



<ポイント2>

植林やアグロフォレストリー（森林農法）、エコツーリズム等によって森林保全の活動をしている日本・インドネシアの団体の取り組みを体験し、地球環境を切り口とした課題を見出し、探究する



＜ポイント3＞

自分たちで考えた提案や
アクション立案をし、
現地の村の若者たちと
ディスカッションを通して
課題分析をしたりアク
ション実施につなげたり
していく



受入団体 ウータン・森と生活を考える会

- ・ 熱帯林と暮らしがつながるアクションを生み出す（パーパス／存在意義）
- ・ 1988年設立
- ・ 2012年ボルネオ島エコツアー開始
13回の開催でのべ152人が参加



現地受入団体

現地受け入れ団体①／ボルネオ島での全行程に同行
Tanjung Lestari (タンジュン・レスタリ／村の青年グループ)



FNPF (下記) が植林の苗づくりやエコツーリズムなどの活動において長年関わってきたタンジュン・ハラバン村で、2019年に立ち上がった20～30代を中心とした村人の集まり。国立公園内外での在来種を中心とした植林や苗づくりのほか、環境教育やエコツアー(スタディツアー)の企画・運営などでウータンと協働している。
FNPFで10年以上働き、植林・環境教育・海外ゲストやボランティアの案内などの経験を積んだ若者・アドゥが発起人だが、他メンバーたちも多様な活動経験を積みながら新たな村のリーダーになるべく奮闘中！

現地受け入れ団体②／ジュルンブンでのみ同行
FNPF (Friends of Nature, People and Forests)



現在は本部をバリに構えているものの、もとはタンジュン・プティン国立公園に集まった研究者などが中心となって1997年に設立された団体。当初は野生生物の保護に取り組んでいたが、動物の棲家である森林の保全が必須であるという気づきに至り、2000年頃からは在来種にこだわった植林やそのための苗づくりを活動の中心軸としてきた。
森と地域社会との相互依存性の視点からコミュニティを巻き込んだ活動を実践しており、カリマンタン事務所のスタッフはほとんどが地元の人から成っている。

引率メンバー



石崎 雄一郎
いっしー



近藤 美沙子
みっしー



尾崎 楓怜
かれん



越智由佳
おっちー



中村彩乃
あやの

行程

日付	プログラム	宿泊地	食事			
7/23 (水)	京都駅集合後、関西空港へ出発 夜にインドネシア・ジャカルタ到着	ホテル (空港内)	—	7/28 (月)	<課題探究の時間 情報収集：グループ行動> (例) A: 森林回復や野生動物保護等に関するグループ はジュルンブンで行動 B: エコツーリズムやアブラヤシ農園グループ はタンジュン・ハラパン村に戻って行動 <課題探究の時間 集めた情報の整理・分析>	朝 昼 夕
7/24 (木)	ボルネオ島パンカランブンへ移動 (飛行機 1 時間半) ホームステイ先のタンジュン・ハラパン村へ移動 (船 で 2 時間) タンジュン・プティン国立公園でオランウータンのフ ィーディング見学 (船10分・徒歩20分)	ホーム ステイ	朝 昼 夕	7/29 (火)	<課題探究の時間 成果発表> グループごとに課題の解決策についての提言や自分た ちのアクション案について発表、ウータンや現地受入 団体からのフィードバックをする <課題探究の時間 アクションの計画立案> 午前中のアドバイスを元に、グループごとに課題の解 決策のアクション案を改善し、計画を立てる	ホーム ステイ 朝 昼 夕
7/25 (金)	村のアブラヤシ・プランテーション見学 小中学校での交流 村の文化体験		朝 昼 夕			
7/26 (土)	NGO活動地ジュルンブンへ移動 (船 2 時間) 野生動物観察、森林火災跡地・金採掘跡地での植林や アグロフォレストリー等の活動現場見学 NGO・FNPFの活動紹介	NGO 宿泊施設 (ジュル ンブン)	朝 昼 夕	7/30 (水)	タンジュン・ハラパン村から移動 (船 2 時間) ジャカルタへ移動 (飛行機 1 時間15分)	ジャカ ルタの ホテル 朝 昼 夕
7/27 (日)	熱帯林破壊の全体像と保全の取り組みのレクチャー <課題探究の時間 課題設定とグループ分け> 自分の興味・関心に基づいて取組みたい課題を考える グループ分けと翌日の訪問場所や活動内容の決定		朝 昼 夕	7/31 (金)	ジャカルタ観光 ジャカルタから関空へ出発	— 朝
				8/1 (土)	関空到着、解散	— —